

2022年度 アンデス・アマゾン学会第11回研究大会プログラム

開催日時：2022年7月9日（土）13:30～17:45、7月10日（日）10:00～12:30

開催方法：面接とZoomによるハイフレックス（Zoom参加方法はメールにて連絡）

開催場所：レクトーレ湯河原（神奈川県足柄下郡湯河原町鍛冶屋 572-1）

≪プログラム：1日目≫

7月9日（土）

13:30 開会（司会：上原なつき）

13:30～13:35 開会挨拶 第11回研究大会実行委員長 大平秀一

研究発表（発表時間20～25分 質疑応答5～10分）

13:40～14:10 長尾直洋（名桜大学）

「第二次世界大戦後の伯刺西爾時報における先住民描写に関する一考察」

14:15～14:45 加藤隆浩（関西外国語大学国際文化研究所）

「亡霊（コンデナード）から見た溺死者（アオガード）」

14:50～15:20 Angelica Palomino de Aoki (Universidad Doshisha) [Zoom]

「La Felicidad en Los Andes: Un vistazo Antropológico y Social」

15:20～15:35 ～休憩～（15分間）

15:35～16:05 大平秀一（東海大学）

「アンデス先住民とヒターノ：その接点の可能性」

16:10～16:40 山本尋（東京大学大学院）[Zoom]

「再解釈されるティンク：その成立とフォルクローレ界における受容から」

16:45～17:45 総会

《プログラム：2日目》

7月10日（日）

10:00 開始（司会：大貫良史）

10:00～10:30 工藤由美（国立民族学博物館）

「マプーチェのマップとは何だったのか？：エコロジーの議論から考える（仮）」

10:35～11:05 真鍋周三（兵庫県立大学）

「植民地時代ポトシ銀山とその周辺部社会における市場経済の浸透と先住民」

11:05～11:20 ～休憩～（15分間）

11:20～11:50 上原なつき（名桜大学）

「山村の物流を支えたアリエーロの活動と宗教的意味づけ（仮）」

11:55～12:25 木村秀雄（自由学園最高学部）

「ボリビア・ラレカハの農地改革」

12:25～12:30 閉会挨拶 アンデスアマゾン学会会長 真鍋周三

12:30 閉会